

## はじめに

L-Acoustics Device Scanner は、Windows および macOS で利用できる、L-Acoustics エレクトロニクスデバイス用のネットワーク管理ツールです。この管理ツールは、同一ネットワークに接続されたすべてのアンプリファイドコントローラー、P1、LS10、LC16D をスキャン・検出します。

L-Acoustics Device Scanner は L-Acoustics のウェブサイトからダウンロードできます。



**L-Acoustics Device Scanner は L-ISA プロセッサおよび L-ISA プロセッサII との互換性がありません。**

## L-Acoustics デバイススキャナーを使う

### コンピュータ要件

- システム :
- Windows 10 以降
- macOS Big Sur (11.7) 以降

### 著作権

Windows 10 および Windows 11 は Microsoft Corporation の登録商標です。  
Mac および macOS は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。

### 事前準備

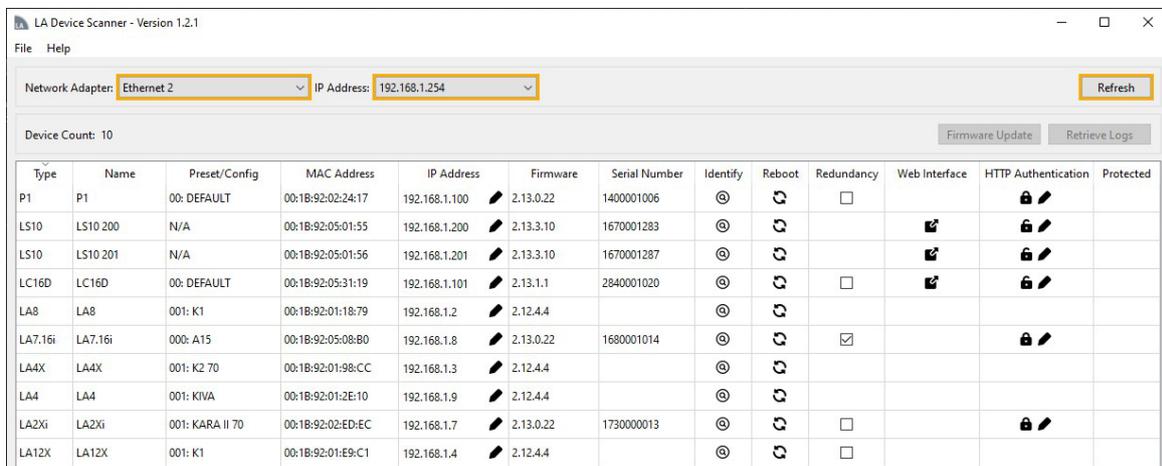
- すべてのデバイスの電源がオンになっていることを確認してください。
- すべてのデバイスと L-Acoustics Device Scanner を実行しているコンピュータが同じネットワークに接続されていることを確認してください。



**各デバイスのオーナーマニュアルを参照してください。**

### 手順

- L-Acoustics Device Scanner を起動します。
- コンピュータ接続に使用する**ネットワークアダプター**を選びます。
- ネットワークアダプターに複数の **IP アドレス**がある場合は、使用する IP アドレスを選びます。
- デバイスは自動的にスキャンされます。
- 必要に応じて **Refresh** をクリックしてテーブルを更新してください。



Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	⊕	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	⊕	↺		🔒	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	⊕	↺		🔒	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	⊕	↺	<input type="checkbox"/>	🔒	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		⊕	↺				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	⊕	↺	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		⊕	↺				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		⊕	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	⊕	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		⊕	↺	<input type="checkbox"/>			

# ユーザーインターフェースの概要

L-Acoustics Device Scanner は、ネットワークに接続されているすべてのアンプリファイドコントローラー、P1、LS10、LC16Dを一覧表示します。

The screenshot shows the 'LA Device Scanner - Version 1.2.1' window. At the top, there are dropdown menus for 'Network Adapter' (set to Ethernet 2) and 'IP Address' (set to 192.168.1.254), along with a 'Refresh' button. Below this, it indicates 'Device Count: 10' and has buttons for 'Firmware Update' and 'Retrieve Logs'. The main area is a table with the following columns: Type, Name, Preset/Config, MAC Address, IP Address, Firmware, Serial Number, Identify, Reboot, Redundancy, Web Interface, HTTP Authentication, and Protected. The table lists 10 devices with their respective details.

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	⊙	↺		🔌	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	⊙	↺		🔌	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	⊙	↺	<input type="checkbox"/>	🔌	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		⊙	↺				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	⊙	↺	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		⊙	↺				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		⊙	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		⊙	↺	<input type="checkbox"/>			

ラベル	説明	編集可否
Type	デバイスタイプ	否
Name	デバイス名（「名前編集」を参照）	可
Preset/Config	デバイスのプリセットまたはレイアウト（アンプリファイドコントローラーの場合）または構成（P1、LC16Dの場合）	否
MAC Address	デバイスの MAC アドレス	否
IP Address	デバイスの IP アドレス（「IP 設定の構成」を参照）	可
Firmware	デバイスのファームウェアバージョン	否
Serial Number*	デバイスのシリアル番号	否
Identify	選んだデバイスを識別（「デバイスの識別」を参照）	---
Reboot	選んだデバイスを再起動（「デバイスの再起動」を参照）	---
Redundancy	冗長ネットワークモードの有効/無効を切り替え（「ネットワーク動作モード（冗長）の変更」を参照）	可
Web interface	デバイスの組込み Web インターフェイスを開く（「組込み Web インターフェイスへのアクセス」を参照）	---
HTTP Authentication	選んだデバイスのパスワードを設定または編集（「認証設定の構成」を参照）	---
Protected	デバイス設定保護のステータス（「設定保護ステータス」を参照）	否
Firmware Update	1 台以上の LC16D および LS10 のファームウェアを更新（「ファームウェアの更新」を参照）	---
Retrieve Logs	1 台以上のデバイスのログを取得（「ログの取得」を参照）	---

**i** \*LA4、LA8、初期シリーズの LA4X、ならびに修理により DSP カードを交換したすべてのデバイスでは、シリアル番号は表示されません。

**i** 複数選択：

**Ctrl** (Windows) または **Cmd** (macOS) を押しながらデバイスをクリックして選びます。  
**Shift** を押しながらクリックすると連続するデバイスを選べます。

## 名前の編集

**Name** 列を使って、名前を定義または編集します。

この機能は同じシステム内の異なるデバイスを区別するのに役立ちます。名前は、LA Network Manager を除き、デバイスをサポートするすべてのソフトウェアで表示されます。



文字数制限は 64 文字です。

1. フィールドをダブルクリックします。
2. 新しい名前を入力し、**Enter** キーで確定します。フィールドが空欄のまま **Enter** キーを押すと、自動的に[タイプ][末尾の IP 番号]の形式でデバイス名が割り当てられます。

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:18:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LS10	LS10 200	N/A	00:18:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	⊙	↺		🔒	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:18:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	⊙	↺		🔒	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:18:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	⊙	↺	<input type="checkbox"/>	🔒	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:18:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		⊙	↺			🔒	
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:18:92:05:08:80	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	⊙	↺	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:18:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		⊙	↺				
LA4	LA4	001: KIWA	00:18:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		⊙	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:18:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA12X	LA12X	001: K1	00:18:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		⊙	↺	<input type="checkbox"/>			

## IP 設定の構成

**IP Address** 列を使って、IP 設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ）を構成します。

1. をクリックします。
2. IP 設定を構成します。
3. **OK** をクリックして確定します。
4. 必要に応じて **Refresh** をクリックして表を更新してください。

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:18:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LS10	LS10 200	N/A	00:18:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	⊙	↺		🔒	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:18:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	⊙	↺		🔒	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:18:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	⊙	↺	<input type="checkbox"/>	🔒	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:18:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		⊙	↺			🔒	
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:18:92:05:08:80	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	⊙	↺	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:18:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		⊙	↺				
LA4	LA4	001: KIWA	00:18:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		⊙	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:18:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA12X	LA12X	001: K1	00:18:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		⊙	↺	<input type="checkbox"/>			

IP Settings

Address: 192.168.1.100

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 0.0.0.0

OK Cancel

## IP 設定に関する推奨事項

---

IP アドレスは特定の IP ネットワーク上でネットワークデバイスを一意に識別するための識別子であり、IPv4 ネットワークでは 4 バイト（32 ビット）で構成されます。IP アドレスはサブネットアドレスとホストアドレスで構成され、ホストアドレスはサブネット内でデバイスを一意に識別する役割を持ちます。サブネットマスクは、サブネットアドレスおよびホストアドレスのビット数を定義します。

慣例として、ホストアドレスの最初の数値はサブネットを指定するために予約され、最後の数値はサブネット内のすべてのデバイスと通信するために予約されています（IP ブロードキャストアドレス）。

L-Acoustics エレクトロニクスデバイスの工場出荷時の IP 設定：

- IP アドレス：192.168.1.100
- サブネットアドレス：192.168.1.0/24
- IP ブロードキャストアドレス：192.168.1.255
- サブネットマスク：255.255.255.0

これらの設定では、IP アドレスの最初の 3 バイト（192.168.1）がサブネットアドレスを定義し、最後の 1 バイトがホストアドレス（100）となります。

一般的な推奨：

- デフォルトのサブネットアドレスとサブネットマスクを用いる。
- 各ユニットに一意の識別子を与えるように、192.168.1.1 から 192.168.1.253 までの連番でデバイスのホストアドレスを設定する。
- 制御用コンピュータを 192.168.1.254 に設定する。

ネットワーク管理上の要件によっては他の IP 設定も可能です。サブネットマスクは 255.0.0.0 から 255.255.255.0 の範囲で定義でき、IP アドレスとゲートウェイアドレスは以下のいずれかの IP 範囲（プライベート LAN の標準）に属している必要があります。

- 10.0.0.1 ~ 10.255.255.254
- 100.64.0.1 ~ 100.127.255.254
- 172.16.0.1 ~ 172.31.255.254
- 169.254.0.1 ~ 169.254.255.254（非推奨）
- 192.168.0.1 ~ 192.168.255.254



デバイスは、制御用コンピュータおよびネットワーク内の他のユニットと同じサブネットおよびサブネットマスクを使用しなければなりません。

**AVB 冗長モードでは**、ホストアドレスはプライマリネットワークとセカンダリネットワークの両方で常に同一に設定されます。セカンダリネットワークのサブネットアドレスは、プライマリネットワークのサブネットアドレスに+1 したものになります。デフォルト設定の例：

- プライマリポート：192.168.1.100
- セカンダリポート：192.168.2.100

サブネットマスクの設定は常に両方のネットワークに適用されます。より小さい（=広い範囲を含む）サブネットマスクを使用する場合も、ホストアドレスは同一になります。例：

- プライマリポート：172.16.1.100
- セカンダリポート：172.17.1.100

ゲートウェイアドレスはプライマリネットワークでのみ使用可能です。

以下を確認してください：

- IP アドレスがサポートされている IP 範囲に含まれていること。
- ゲートウェイが同一サブネットに属する IP に設定されていること、または使用しない場合は 0.0.0.0 に設定されていること。

使用できる最も広いサブネットマスクは 255.255.255.0 です。

255.255.255.128 のような狭いサブネットマスクはサポートされません。

## デバイスの識別

**Identify** 機能は、テーブル上の接続デバイスと、システム内の物理デバイスを相互に識別するための双方向プロセスです。

🔄/🔍 をクリックして機能を有効/無効にします。

- プロセッサの前面パネルでは、背景が点滅しながら名前と完全な IP アドレスが表示されます。
- アンブリファイドコントローラーの前面パネルでは、LED が点滅し、画面に IDENTIFICATION または名前と完全な IP アドレスが表示されます。
- 識別したデバイスが LA Network Manager でオンラインの場合には、点滅して表示されます。
- 識別したデバイスが Hive AVB Controller でオンラインの場合には、太字で表示されます。



複数のデバイスを同時に識別できます。

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒/✎	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	🔄/🔍	🔄		🔒	🔒/✎	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	🔄/🔍	🔄		🔒	🔒/✎	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>	🔒	🔒/✎	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	🔄/🔍	🔄	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒/✎	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒/✎	
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>			

## デバイスの再起動

🔄 をクリックして、選んだデバイスを再起動します。

再起動中、デバイスはインターフェイス上から一時的に消えます。必要に応じて、再起動後に **Refresh** をクリックしてテーブルを更新してください。

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒/✎	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	🔄/🔍	🔄		🔒	🔒/✎	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	🔄/🔍	🔄		🔒	🔒/✎	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>	🔒	🔒/✎	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	🔄/🔍	🔄	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒/✎	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒/✎	
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		🔄/🔍	🔄	<input type="checkbox"/>			

## ネットワーク動作モード（冗長）の変更

Redundancy 列を使って、冗長ネットワークモードを有効/無効にします。



### ブロードキャストストームのリスク

冗長モードを有効にする場合：プライマリネットワークケーブルをスター型トポロジーで接続し、モードを変更してからセカンダリネットワークケーブルを接続してください。

冗長モードを無効にする場合：必ず先にセカンダリネットワークケーブルを外してからモードを変更してください。

冗長が有効になると、デバイスの各 Ethernet ポートはそれぞれ独自の IP アドレスを持つ個別のポートとして動作します。これにより、プライマリとセカンダリの 2 つの独立したネットワークが構築され、障害発生時にシームレスなバックアップが可能になります。

冗長化によりネットワーク障害による音切れのリスクが低減します。プライマリネットワークに障害が発生した場合でも、セカンダリネットワークの信号に自動的に切り替わるため音は途切れません。



ネットワークモードの変更にはデバイスの再起動が必要です。その場合、デバイスを再起動するためのポップアップウィンドウが表示されます。

チェックマークをいれると、選んだデバイスの冗長が有効になります。

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	Ⓞ	🔄		🔒	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	Ⓞ	🔄		🔒	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>	🔒	🔒	🔒
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		Ⓞ	🔄				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:80	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	Ⓞ	🔄	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		Ⓞ	🔄			🔒	🔒
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		Ⓞ	🔄			🔒	🔒
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>			

## 組込み Web インターフェイスへのアクセス

🔗 をクリックして対応デバイスの組込み Web インターフェイスを既定の Web ブラウザで開くか、Web ブラウザのアドレスバーにデバイスの IP アドレスを入力します。



Web インターフェイスボタンは、ファームウェアバージョン 2.15.0 以降で動作している対応デバイスでのみ利用できません。

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1 100	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.15.0.9	1400001006	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>	🔗	🔒	🔒
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.15.0.9	1670001287	Ⓞ	🔄		🔗	🔒	🔒
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.15.0.9	1670001283	Ⓞ	🔄		🔗	🔒	🔒
LC16D	LC16D 101	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.15.0.9	2840001020	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>	🔗	🔒	🔒
LA8	LA8 2	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.15.0.9		Ⓞ	🔄			🔒	🔒
LA7.16i	LA7.16i 102	000: L2 110	00:1B:92:05:08:80	192.168.1.102	2.15.0.9	1680001014	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>	🔗	🔒	🔒
LA4X	LA4X 3	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.15.0.9		Ⓞ	🔄			🔒	🔒
LA4	LA4 9	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.15.0.9		Ⓞ	🔄			🔒	🔒
LA2Xi	LA2Xi 7	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.15.0.9	1730000013	Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>	🔗	🔒	🔒
LA12X	LA12X 4	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.15.0.9		Ⓞ	🔄	<input type="checkbox"/>		🔒	🔒



詳細については各デバイスのオーナーマニュアルを参照してください。

## 認証設定の構成

HTTP Authentication 列を使って、認証設定を構成します。



認証機能はファームウェアバージョン 2.13.0 以降で利用できます。

認証は HTTP API クライアントのみに適用されます：L-Acoustics HTTP API を利用する Web インターフェイスやサードパーティのインターフェイスが対象です。認証は LA Network Manager や前面パネルには適用されません。LA Network Manager および前面パネルのパスワードを設定する場合は、**Settings Protection Technical Bulletin** を参照してください。

各デバイスにはデフォルトパスワードが設定されています：

- LA2Xi、LA7.16i、P1、LS10、LC16D : **admin** (認証はデフォルトで無効)
- LA4、LA4X、LA7.16、LA8、LA12X : システムインテグレーターまたは L-Acoustics (avcontrol@l-acoustics.com) にお問い合わせください。(認証はデフォルトで有効)



### パスワードのリセット

USB ポートを備えたデバイスは、USB Terminal ツールを用いて工場出荷時設定に復元できます。詳細は LA Network Manager [ヘルプ](#) を参照してください。

P1 はタッチスクリーンディスプレイから工場出荷時設定に復元できます。詳細は [P1 オーナーマニュアル](#) を参照してください。

LA12X および LA4X については、L-Acoustics にお問い合わせください。

錠前アイコンは認証ステータスを示します。(開いた状態：無効、閉じた状態：有効)



- をクリックします。
- デフォルトパスワードを入力して **OK** をクリックします。

HTTP Authentication Settings

Current Password

.....

OK Cancel

- Enable HTTP Authentication** にチェックを入れ、**Change Password** をクリックします。

HTTP Authentication Settings

Enable HTTP Authentication

Change Password

Cancel Apply

- 新しいパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

HTTP Authentication Settings

New Password

.....

Confirm New Password

.....

OK Cancel

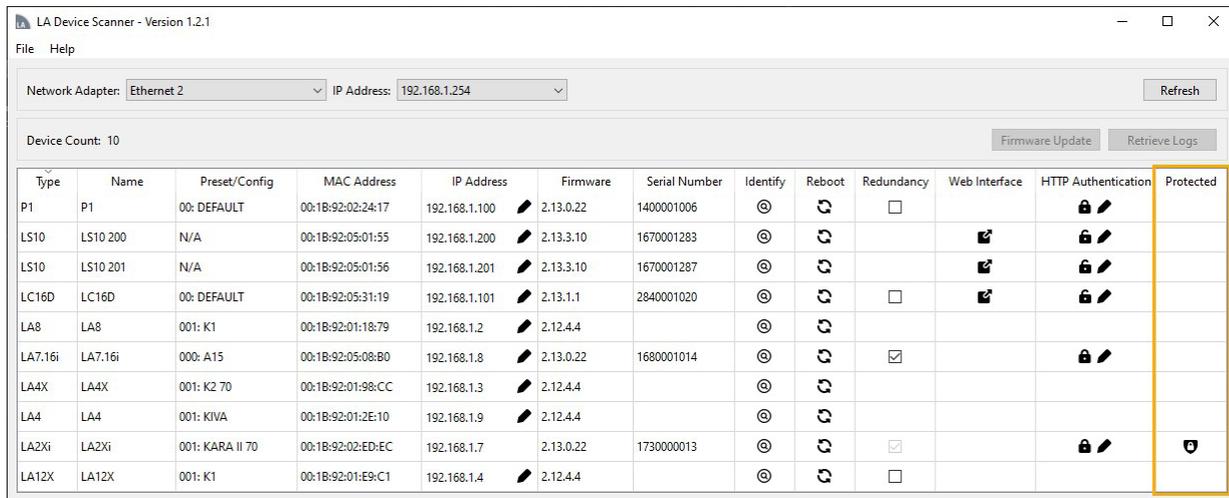
- Apply** をクリックして変更を確定します。



認証を無効化する場合は、Enable Authentication のチェックを外し、Apply をクリックしてください。

## 設定保護ステータス

**Protected** 列には、設定保護のステータスが表示されます。錠前アイコンは、そのデバイスで設定保護が有効であることを示します。デバイスが保護されている場合、IP アドレスやネットワーク動作モードは変更できません。



Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	⊙	↺		🔗	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	⊙	↺		🔗	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	⊙	↺	<input type="checkbox"/>	🔗	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		⊙	↺				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	⊙	↺	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		⊙	↺				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		⊙	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	⊙	↺	<input checked="" type="checkbox"/>		🔒	🔒
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		⊙	↺	<input type="checkbox"/>			

設定保護は LA Network Manager から無効化できます。詳細は [Settings Protection Technical Bulletin](#) を参照してください。

## ファームウェアの更新

**Firmware Update** を使って、単一または複数のデバイスのファームウェアを更新できます。

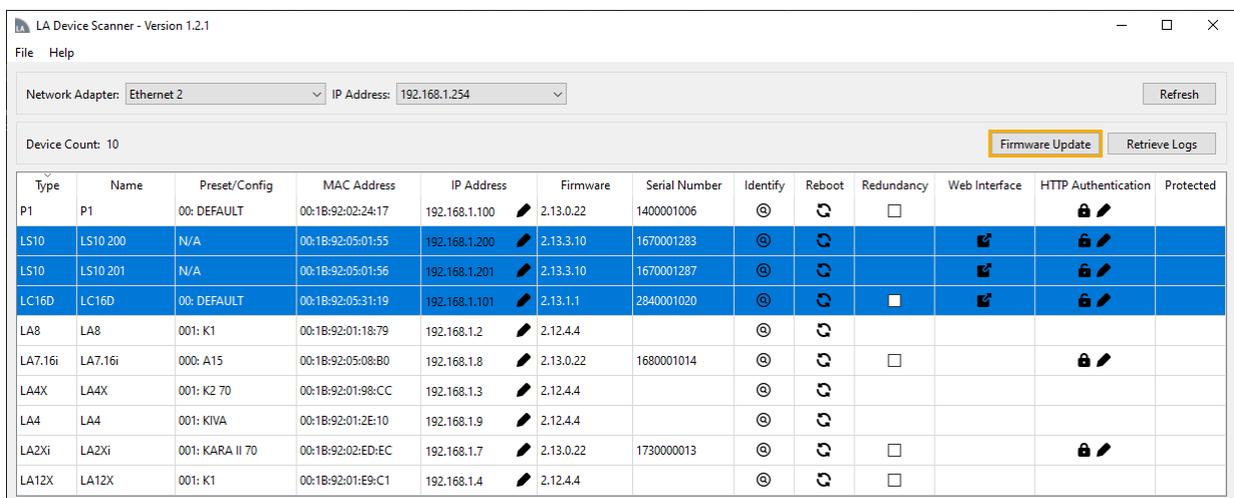


このオプションは **LC16D** および **LS10** にのみ対応しています。

その他のデバイスについては、LA Network Manager を使用してファームウェア互換性を確認してください。

ファームウェアパッケージ `fw_vx.xx.x.x_LC16D_LS10.fwpkg` は、L-Acoustics Device Scanner リリースパックに含まれており、L-Acoustics のウェブサイトから入手できます。

1. デバイスを選びます。
2. **Firmware Update** をクリックします。
3. FWPKG ファイルを選びます。  
ファームウェア更新が完了すると、デバイスは再起動します。
4. 必要に応じて **Refresh** をクリックしてテーブルを更新してください。



Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	⊙	↺		🔗	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	⊙	↺		🔗	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	⊙	↺	<input type="checkbox"/>	🔗	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		⊙	↺				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		⊙	↺				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		⊙	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	⊙	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		⊙	↺	<input type="checkbox"/>			

## ログの取得

Retrieve Logs を使用してログをエクスポートします。

ログは名前に取得日時がついた「LA\_LOG\_」ZIP フォルダとして出力されます。



トラブルシューティング時に、これらのファイルを L-Acoustics の担当者へ送付すると問題解決に役立つことがあります。

1. デバイスを選びます。
2. **Retrieve Logs** をクリックします。
3. コンピュータ上の保存先を選びます。

LA Device Scanner - Version 1.2.1

Network Adapter: Ethernet 2 IP Address: 192.168.1.254 Refresh

Device Count: 10 Firmware Update Retrieve Logs

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	Ⓢ	↺		🔗	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	Ⓢ	↺		🔗	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	Ⓢ	↺	<input checked="" type="checkbox"/>	🔗	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		Ⓢ	↺				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		Ⓢ	↺				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		Ⓢ	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>			

## テーブルのエクスポート

Export to CSV を使用して、L-Acoustics Device Scanner のユーザーインターフェイスに表示されているテーブルを.csv ファイルとしてエクスポートできます。

1. テーブル上の任意の場所を右クリックし、**Export to CSV** を選びます。
2. コンピュータ上の保存先を選んでください。

LA Device Scanner - Version 1.2.1

Network Adapter: Ethernet 2 IP Address: 192.168.1.254 Refresh

Device Count: 10 Firmware Update Retrieve Logs

Type	Name	Preset/Config	MAC Address	IP Address	Firmware	Serial Number	Identify	Reboot	Redundancy	Web Interface	HTTP Authentication	Protected
P1	P1	00: DEFAULT	00:1B:92:02:24:17	192.168.1.100	2.13.0.22	1400001006	Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LS10	LS10 200	N/A	00:1B:92:05:01:55	192.168.1.200	2.13.3.10	1670001283	Ⓢ	↺		🔗	🔒	
LS10	LS10 201	N/A	00:1B:92:05:01:56	192.168.1.201	2.13.3.10	1670001287	Ⓢ	↺		🔗	🔒	
LC16D	LC16D	00: DEFAULT	00:1B:92:05:31:19	192.168.1.101	2.13.1.1	2840001020	Ⓢ	↺	<input checked="" type="checkbox"/>	🔗	🔒	
LA8	LA8	001: K1	00:1B:92:01:18:79	192.168.1.2	2.12.4.4		Ⓢ	↺				
LA7.16i	LA7.16i	000: A15	00:1B:92:05:08:B0	192.168.1.8	2.13.0.22	1680001014	Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA4X	LA4X	001: K2 70	00:1B:92:01:98:CC	192.168.1.3	2.12.4.4		Ⓢ	↺				
LA4	LA4	001: KIVA	00:1B:92:01:2E:10	192.168.1.9	2.12.4.4		Ⓢ	↺				
LA2Xi	LA2Xi	001: KARA II 70	00:1B:92:02:ED:EC	192.168.1.7	2.13.0.22	1730000013	Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>		🔒	
LA12X	LA12X	001: K1	00:1B:92:01:E9:C1	192.168.1.4	2.12.4.4		Ⓢ	↺	<input type="checkbox"/>			